

## 四国観光復興キャンペーン 意見・要望事項

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品造成への補助金について 旅行商品造成への補助金活用は、旅行会社の造成スケジュールを踏まえうえで実施すると効果的であるので、四ツ創と調整し活用をお願いしたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国観光復興プロモーションについて ツーリズムEXPOにて、四国一体となったPRを行う。また、四国全体で復興をアピールしたステージイベントを実施すべきであると思うので、ぜひ四ツ創として出展団体との調整をお願いしたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンペーンについて 観光庁が「平成30年7月豪雨による風評被害を払拭するための支援」を展開することになっているが、このキャンペーンは、その展開との連携や連動を考えているのかご教授願いたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災地内に拠点を持つ旅行会社は物理的な被災(社員や家族の住居、営業所、社員の通勤事情の悪化等)に加え、夏繁忙期の旅行キャンセル、新規受注の減少等営業面においても甚大な被害を受けている「被災者」でもあります。 四国着地観光の復興へ社として最大限尽力する所存でございます。即効的な効果の追求にOTAの活用は欠かせないことは十分に理解しておりますが都市部OTAが「ビジネスチャンス」という考え方のみで取り組むことが無いよう、被災地旅行社自体の「復興」につながる取組をぜひともお願いいたたく存じます。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>風評被害を最小限にとどめ、四国内外のお客様にお越しいただきたい。 うかい(～9/20):コースの一部変更等現状を見て安全優先に運行を再開。 いもたき(9/7～10月中旬):場所を変更し(緑地公園)、開催決定。 脇南地区町並み歩き、大洲城、臥龍山荘、赤煉瓦館は被害もなく、大洲まちの駅「あさもや」を中心に通常どおり楽しんでいただける。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市圏にある旅行会社等の現場のナマの意見(四国への予約状況推移、肌感覚)を会議毎に状況報告・共有してほしい。 ・プロモーション等の情報を受け取る側の意見を反映できるシステムが必要。 ・四国外の観光復興に向けた専門知識を持つ人材の参画。</li> </ul>
7	<p>先ずは、今回の7月 30日 西日本豪雨災害で被害遭われた方々にお見舞い申し上げると同時に、お亡くなりになられた方々にお悔み申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①今回、11都道府県が助成対象で、2県2泊以上が助成条件であります。四国では愛媛県と高知県が対象県となっておりますが、四国全体の観光復興キャンペーンと打ち出す場合、助成対象外の香川県と徳島県をどのようにして来県頂くか課題です。何か特例措置又は誘客策はありますか?</li> <li>②四国島内の観光に対する島内移動が元々少ない状況です。県外からの誘客も重要であります。島内移動を増加させる手段を検討する必要があると思えます。</li> <li>③本州との連携による2県2泊以上の場合、交通施策をどのように作り上げるかも課題です。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県内の宿泊者は松山市、特に道後温泉周辺に集中しており、四国など広域を周遊する際の観光拠点にもなっていることから、道後温泉をメインにした情報発信に取り組んでいただきたい。さらに道後温泉と合わせて県内の観光地をプロモーションすることで、宿泊が増え、さらなる県内周遊に繋がると考える。</li> <li>・道後温泉のシンボルである道後温泉本館は、来年の1月中旬を目途に改修工事に入る予定であるが、営業しながら工事を行う予定であるため、今後のプロモーションに当たり正しい情報発信に留意が必要。</li> <li>・政府・観光支援事業費補助金(宿泊割引)について、別途、旅行会社向けの説明会を実施するなど、旅行会社によるパッケージ化を促進する情報発信が必要。</li> </ul>

9	<p>西日本豪雨による香川県の宿泊施設への影響について、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合の調査によると、7月5日から8月8日までのキャンセル実績は、宿泊については、人数で約1万4千人、金額で1億7千万円超、宴会で約4千人、3千万円超であったとのことである。</p> <p>この結果は、四国が一つとして認識され、そして、具体的なプランにおいても、周遊ルートとして一つに結ばれていくことを示している。11府県のみならず、現実にもそれ以外の県においても大きな被害が生じているということ、そして、回復するには、結ばれ、影響を受けている全ての県が元気になることが必要だということを改めて認識し、秋の観光シーズンに向けて、元気を取り戻すために、一丸となって風評の払拭と、誘客活動に全力で取り組まなければならないと考える。</p>
10	<p>「周遊旅行の促進」支援事業について        ・8月3日に公表されているため、現状では、この割引待ちにより出控え傾向が顕著に出ていることから、隣県との連携・協調体制の構築を急ぎ、早期の商品化を図っていただきたい。</p>
11	<p>愛媛県南予地方への誘客案があればご教示いただきたいと思います。</p>
12	<p>香川県においても、宿泊施設に確認をしたところ、風評被害等により団体や個人旅行者からのキャンセルがあった。今回の復興キャンペーンにおいては、被害を受けた地域のみならず四国全体への誘客につながるものとなるようと考えていきたい。</p>
13	<p>四国全体が豪雨災害による影響により風評被害があると聞いており、四国が一丸となって元気になることを発信する必要があると思います。</p>
14	<p>「観光支援事業費補助金」(宿泊割引)対象期間の延長        現行では9月で終了予定ですが、「九州ふっこう割」に比較すると11府県に連続2泊以上が前提のため対象旅行者が少ないことが懸念されます。一人でも多くのお客様に四国にきていただくためにも期間延長検討を要望します。</p>
15	<p>外国人のSNS等での被災地に係る情報発信の強化        ・地元の大学との産官学連携事業として留学生によるSNSの発信        ・海外から多くのフォロワーを持つブロガーを招待するの一案ですが、日本在住の「外国人視点」と「日本人視点」の両面を持つ留学生を活用し母国SNS等で被災地の現状を発信する事も有効と思われれます。</p>
16	<p>四国は一つ。四国4県が助成を受けられるシステム作りを        四国は一つである。四国全体に風評被害は波及している。今、四国全体がハンデを受けている。今、四国全体がハンデを受けている。        現行の補助金のシステムでは、四国の中では、愛媛と高知しか補助を受けられない。今までの旅行形態として、琴平→道後や徳島→高知といった四国内で2泊するという周遊プランの旅行形態が多い。今回の補助金の趣旨が、周遊旅行促進ということであれば、現行の2県だけの助成だけでなく、香川、徳島にも助成をしていただくと助成金プランを作成して欲しい。そうすることで、今までの旅行形態を維持することもできることながら、もつと四国内域内流動を促進することに繋がる。もし、香川、徳島の宿泊助成が出ない場合、又、本助成金の適用期間が短期間なのであれば、本四架橋、四国内の高速道路等の通行料金を割引していただくシステムを作ってもらって、あらゆる分野で四国内の域内流動が促進されるような施策を取って欲しい。</p>
17	<p>今回の助成金に手数料が発生しないシステムの構築をお願いしたい。        今回、本補助制度に対して旅行会社各社が入っていただくことに関しては、予約業務が一元化・簡素化できるメリットがあり、消費者と旅館・ホテルにとっても歓迎いたします。        ただ、この宿泊割引¥6000もしくは、¥4000の部分は、税金で補填される部分です。よって、税金の使用用途考えると、この割引部分に対しては、手数料がかからないシステムにして欲しい。</p>